

当院を受診された患者さんとそのご家族および代理人の方へ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、連絡期間内に、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

受付番号	20210174
研究課題名	ステロイド治療を行った COVID-19 を合併した糖尿病患者の血糖推移の解析
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 総合診療科 /比嘉 真理子
連絡期間	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、西暦2022年3月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
研究の目的と意義	新型コロナ感染を併発した糖尿病患者さんの入院中の血糖コントロールを良好にすることが、コロナ感染を改善させるための重要な因子の一つになるのかにつき解析します
研究の方法	新型コロナ感染症で入院した糖尿病患者さんの入院中の血糖値と炎症を示す検査データが関連するか否かにつき解析します。
対象者	西暦2021年1月1日～2021年11月8日の間に、当院に新型コロナ感染で入院した糖尿病患者の方
利用する試料/情報	<p>① 対象の臨床像 年齢、性、糖尿病罹病期間、糖尿病治療薬</p> <p>② 血液検査項目 治療前後の血中CRP 治療前 Dダイマー (D-dimer : 血栓 (血液の塊)中のフィブリンという物質が溶解された際に生じる物質の1つ)、fibrinogen (フィブリノゲン : 血液凝固の第I因子で、急性相反応物質)、HbA1c (ヘモグロビンエーワンシー : 糖化ヘモグロビンがどのくらいの割合で存在しているかをパーセント (%) で表したもの)、フェリチン (Ferritin : 鉄結合性タンパク質の一種)</p> <p>③ 全項目は以下の通り 年齢、性別、DM歴、治療歴、BMI、HbA1c、S-Cr、前CRP、前Fib、前フェリチン 前DD 前FDP 前PCT 後CRP 後Fib 後フェリチン 後DD 後FDP 、後PCT D-2 FBS D-2 MBS D-2 insulin D-3 FBS D-3 MBS D-3 Insulin D-4 FBS D-4 MBS D-4 insulin D-5 FBS D-5 MBS D-5 Ins D-6 FBS D-6 MBS D-6 Insulin D-7 FBS D-7 MBS D-7 Insulin D-8 FBS D-8 MBS D-8 Insulin D-9 FBS D-9 MBS D-9 Insulin D-10 FBS D-10 MBS D-10 Insulin MAXFBS MAXMBG MAXIn MAXday</p>
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
研究資金源	研究者の私費
結果公表	第65回日本糖尿病学会年次集会で発表
研究終了後の試料/情報の取り扱い	研究終了報告日から5年または最終の研究結果報告日から3年のいずれか遅い日まで保管し、匿名加工情報として廃棄します。
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000 済生会横浜市東部病院 総合診療科/比嘉真理子